

広報

# さかい



## CONTENTS

特集 伝統が生みだす絆 ..... 2

図書館からのお知らせ  
1月5日から共通利用カードに ..... 16

【今月の表紙】

「つるし柿」縄かけ(詳細は27ページ)



# 伝統が生みだす絆きずな

心を一つに束ねる祭り、地域の中に息づく伝統。それらが織り成す独自の一体感

巡る  
ここに  
必然的に残まっていた  
女たちの連帯感

## 女たちが支えた安島区

名

勝・東尋坊のすぐ北  
そこに、約370戸  
が寄り添うように立ち並ぶ  
集落がある。三国町安島区。  
初夏には、区内の細い路地  
や空き地のいたるところに

ワカメを干すむしろが広げ  
られ、磯の香りに包まれる。  
夏にはアワビやサザエ、ウ  
ニなどの漁で活気付く。

同じ三国町内の「三国湊」  
は、江戸時代に日本海貿易  
の主力を担った北前船の寄  
港地として栄えた。安島区は、  
海を仕事場とする文化があ  
ったとはいえ、素潜り漁が  
主流。生活は厳しく、大正  
から昭和時代にかけて、区  
内の男たちの多くが外国航  
路の船乗りになった。そし  
て一年のほとんどを船上で  
過ごした。

夫や息子など働きざかり  
の男たちのいない集落で、  
女たちは海女として近海で  
アワビやサザエを捕りながら、  
家を守った。

船舶の自動制御化が進み、  
船乗りとしての雇用事情が  
悪化してきた昭和40年代後  
半以降、次第に男たちは船  
を降り、仕事場を海から陸  
へ移していった。

女たちの海女姿と、暮ら  
しや気持ちを支え合う中で  
築かれた強い連帯感は、今  
も変わらずそこにある。

女性主力の生活文化は、安島区独特のもの。  
それを象徴する伝統行事が、そこにはある。  
次ページからは、住民たちがその伝統行事に  
かける思いと、そこから生まれるものを探る。

長い歴史の中で、人の暮らしは幾度も、その時代に合わせて変化を遂げてきた。モノがあふれる一方で、人と人とのつながりは少しずつ希薄になってきた。そして、その状態に不都合すら感じなくなりつつある。  
しかし、どんなに暮らしが変わっても、人と人との強く結びついていく地域がある。  
本号特集では、そこに共通して息づく「祭り」という伝統に注目。あらためてその魅力や意義を振り返りながら、地域にはぐくまれる絆について考える。

## 安島のウニ漁(昭和10年ごろ)

▼安島の暮らしを支えた、海女のウニ漁。女性が主力だった生活文化がうかがえる。雄島橋が掛かる以前の写  
からは、神に捧げるウニを結界の中で捕っていた様子が分かる







平成22年  
安島青年団 団長  
本根 浩行さん

千年以上の歴史をもつといわれる、大湊神社の例大祭「雄島祭り」。昔から、地元の「安島青年団」が仕切るのが伝統になっている。

青年団を中心に広い世代が交流し、区全体を「共通の意識」でつなぐ。その一部始終を、今年の安島青年団長、本根浩行さん(29歳)に聞いた。

宿る  
こころ  
祭りを大切に思う気持ちを誰もが持っている

安島で「祭り」といえば、雄島祭りのこと。安島の一年は、祭りに始まり祭りに終わるといってもいいくらい、祭りは大切な存在です。団長は毎年交代します。一生に一回しか団長を経験することはできません。団長は基本的には「まとめ役」、青年団の仲間が実働部隊となります。

## 地域の力が結集する祭り 成し遂げて分かる 地元の良さとおもしろさ

祭りには理由がある

乙女みこしの起源は「祈り」  
女性が主力の生活文化を象徴



大湊神社  
まつむらただのり  
宮司 松村忠記さん(74歳)

海の神様は、女性だといわれています。また、働き盛りの男たちが外国航路の船に乗っている間、女たちが海女の仕事をしながら辛抱強く家を守っていました。このように、海とは切り離せない生活文化のある安島区は、古くから女性が神事に奉仕するという、全国でも珍しい土地でもあります。

雄島の春は、海から訪れます。古来、安島区の未婚女性は3月になると、十日ほどをかけて大湊神社の社領を歩きました。春の到来を告げ、その年の豊作と大漁、無事を祈るためです。その風習は、少しずつ形を変えながら、今も続いています。雄島祭りで女性がかつぐ乙女みこしも、それに由来しているのです。



みこしを担ぐ乙女たち



昭和9年ごろの雄島祭り。みこしの担ぎ手たちのまなざしが熱い

「わらじを履きなあかん」「みこしを直さなあかん」「豚汁を婦人会にお願いせなあかん」...

。団長は、祭りに参加してもらったり見に来てもらったりするために、目には見えな

いところでかなり神経をすり減らします。歴代の団長経験者が、手落ちの部分をサポートしてくるのが本心に心強いんです。

でも、そういう苦労を味わうと、なぜか祭りがおもしろいと思える。祭り当日は、何ともいえない達成感に満たされます。だから、団長を経験すると、次の年、またその次

も「祭り」の中にいたくなる。自分が団長のときに協力し

てくれた仲間のために、今度は自分が協力しようという気持ちに誰もがなるんです。

祭りに関しては、良いも悪いもすべて団長の責任です。「俺んときはこれがうまくいった」「見事な快晴だった」と、お天気までも自分の手柄のように言う。年寄りと若いのが対等に張り合えるのも、みんな祭りが好きだからなんです。

祭りは仕掛けるのも参加するのも、おもしろいですよ。

躍る  
こころ  
楽しむ — 誰もが地元の良さを実感する

## 千年を超える伝統 雄島祭り

「よーいさー! よーいさー!」— 威勢のいい掛け声。独特のリズム感に見ている者の心も躍る。三国町安島区は、区内に鎮座する大湊神社の春の例大祭「雄島祭り」で有名だ。

古くから伝わるこの祭りは、毎年4月20日に行われる。青年団を中心に、安島区民全員が力を合わせて作り上げる。男たちがみこしを担ぐ姿は圧巻で、その活気を収めようと、県内外から毎年多くのカメラマンが訪れる。祭りの日は、安島を離れている若者たちも帰ってくる。

当日は、午前9時30分から大湊神社拝殿で式典が行われる。神殿には、漁師たちが奉納した大量の魚介類が積み上げられる。また、地元の女の子が「浦安の舞」を奉納する。

式典が終わると、拝殿前の広場では、青年団による「おかんば」が執り行われる。「おかんば」とは、マサカリを持った若武者が駆け回って、獅子を退治する寸劇だ。このおかんばのために、祭り前の幾晩も、役に当たる若者が特訓を積む。場面展開など毎年アレンジし、本番に挑む。クライマックスには、観客から掛け声や拍手が沸き起こる。



おかんばが終わると、いよいよみこしの出発だ。みこしは、男たちが担ぐ舟みこし、子どもたちが担ぐ子供みこし、女たちが担ぐ乙女みこしの3基。舟みこしと子供みこしは、陸路で東尋坊へ向う。少し遅れて、乙女みこしが堤防から漁船に乗り、海路で東尋坊へ向う。乙女みこしを乗せた船を先頭に、近隣の集落から集まった15隻の漁船が並走し、勇壮なパレードを繰り広げる。そして、東尋坊の崖上に到着した舟みこしと、崖下に到着した乙女みこしが巡り会う。

東尋坊でひとときの「逢瀬」を終えた舟みこしは、再び集落内を練り歩く。古い町並みを残す安島の狭い路地も、その身をこするようにはみこしは進む。

夕刻、固唾をのんで見守る観客を背に、舟みこしが海を渡る。安島漁港からみこしが入水し、担ぎ手が一段と大きく声を掛け合いながら泳ぎ進むさまは、見ている者の胸を熱くさせる。

神社にみこしが戻るのは、日もすっかり沈んだころ。みこしを神社に入れようとすると担ぎ手と、それを拒む担ぎ手が「やれ! やんな!」の掛け声と共にみこしを引き合い、神社の境内を行ったり来たりする。午後8時ごろ、ようやくみこしが神社に納まり、その年の雄島祭りは幕を下ろす。



## 強い絆の秘訣②

### “安島は一つ” 放っておけないんです



安島区 区長 下影 務さん(66歳)

#### 義理人情に厚い安島区民

「祭りの人手不足をどうするか」「高齢化をどうするか」「過疎化をどうするか」…。安島では何かにつけ、若い者と年配者が膝を突き合わせて話し合ってきました。そして、話し合うことで、お互いを理解してきました。

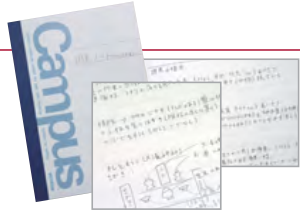
区で決めたことは区民全員が守る、しきたりに反することはしない、という意識が区民にはあります。

区では、主要道路沿いのごみ拾い、海岸清掃、草刈りなど、ほぼ毎月奉仕作業を行っています。特に強く呼び掛けているわけではありませんが、子どもから年配者まで本当に多くの区民が参加してくれます。

また、区民の中には「放っておけない」という意識があります。サザエやアワビの選別作業を見掛けると、自分から寄って行って手伝いをする。若い者から相談を受ければ親身になって聞く。お互いさま、自分が受けた恩を次の世代に返していこうという意識の現れでしょう。

#### 暮らしの中から生まれた絆

かつて安島の男性は船乗りが多く、女性がこの地域を守ってきたことから、女性同士の絆の強さには一目置けるものがあります。また、安島を考える会が軸となって、青年団や壮年会などいろんな組織のまとまりもいい。この絆が土台となっているからこそ、区全体のまとまりもいいのだと思います。



▲「団長ノート」には細かなメモが。記録を引き継ぐことも大切

青年団は、一つの社会なのだと思っています。祭りの準備は、団員みんなが協力してはいますが、要のときには責任はすべて団長にかかります。海渡りの後に振る舞う豚汁を婦人会にお願いすること、みこしの休憩所を提供してもらう家にお願ひに行くことなど、いろんな根回しや調整、区への報告などは団長にしかできません。団長を差し置いて、ほかの団員が話をつけたり動いたりということは、基本的にしませんが、お願いをしないといけないところには、団長と副団長がきちんと挨拶に向きます。

祭りが終わったら、これもきちんとお礼の挨拶に伺います。みこしが壊れて、集落の年配者に修理の見立てを頼んだり、祭りの準備に壮年会の人たちが陣中見舞いに来てくれたりしても、ちゃんとお礼をする。筋をきちんと通すことは大切です。また、家族に不幸があると、その年は団長にはなれないし、祭りにも参加できないという暗黙のルールがあります。指揮者（みこしを誘導する人）も、みこしを担いではダメ。それもルールです。ルールを守らずに祭りをして、もし、それだけが人がでたら、因果関係がなくてもそれを理由に

祭りが終わったら、これもきちんとお礼の挨拶に伺います。客の安全を守るのも青年団のプライドなんです。祭りは生活そのもの。自分が受けた楽しさや恩を次の世代に返していくのはもちろんですが、こんなふうな、社会に通ずるモラルを、僕たちは青年団の活動の中で自然に学んでいると思うんです。折に触れて、若い世代は年配者から社会のルールやコツを聞いているんです。これは、安島独特の伝統だと思っています。安島とほかの区の違いは何か、と聞かれたら、やはり「祭り」だと答えます。なぜなら安島では祭りは生活の中心だからです。祭りを軸に、年配者と若者がぶつかり合える。ちゃんと

話ができるから、縦と横が交わる。今年祭りが終わるころには、もう来年の祭りの話をしていく。祭りを中心に、年配者と若者が対等に話をするんです。「おかんば、よかったよ」「ようがんばったね」。おかんばを見て涙を流しているおばあちゃんを見つたりすると、なんとか祭りをずっと盛り上げて行きたいという気持ちで安島が大好きになるんです。



得る  
こころ  
人と人の間で生きる  
思いが一つになる

## 郷土愛が育つ 祭りを軸に人がつながる



▲盆踊り大会で楽しく踊る子どもたち。ぼんぼりの絵も子どもたちの作品だ



▶踊りの指導を通じて、交流と信頼が深まっていく

続けていれば子どもたちは地域の行事に出て来るし、今年来れば来年も来る。そういう環境作りをしたいんです。年配の人には話にくいけど、僕らなら話せる、という具合に、少しずつ輪に入ってきてくれています。僕たち30歳前後の者と10代の者が、対等に話せるんですから。その甲斐あつて今、安島に

は「安島大好き子」が本当に多くなりました。子どもたちが青年団の年頃になるまでは、青年団を存続してあげたい。すべて積み重ねなんです。何年か前、団員が少なくて大掛かりな勧誘に歩いた年があったそうです。そのとき、「安島を考える会」の出南さんが、一軒一軒、一緒に歩いてくれたそうです。年配者が

一緒に話をしてくれれば、反対にもあいにく心強いですからね。青年団の立場や活動を知ってくれているからこそ、辛い役回りを買って出てくれたんだと思っています。世代を超えたつながり

も、自分たちだけで解決できないまま放置される。それは、ほかの世代とのつながりが薄いからだと思ふんです。安島は、祭りのおかげで、いろんな世代とつながりがあります。自分たちだけで解決できないときは、いろんな世代の力や知恵を借りることができる。祭りを抜きに考えても、どの世代もつながっている実感はあると思ふんです。



◀当日の天気だけは神頼み。てるてる坊主を手作りするのも伝統に

（前ページから続き）  
とは言え、何も困ったことがないわけではありません。団員の減少という、切実な現実問題に直面しています。地域にかかわらない人は、とことんかわらない。安島にも都会的要素が入っている。海を仕事場にしていたころとは違って、今は外へ働きにでる時代だからなんでしょうね。

それでも、祭りを仕切らないといけない。だから僕たちは、活動しやすい青年団にしていくなために、意図的に地道な活動をしています。意図的に後継者を育成



#### 強い絆の秘訣①

### 縦と横をつなぐ役目 対話の濃さがカギに

安島を考える会  
会長 出南 信弘さん(69歳)

#### 若者のことを考えた協力体制を

雄島祭りに関しては「青年団の力で」という伝統が息づいています。青年団にもその使命感があります。でも、その青年団にも人手不足の波は避けられず、祭りを仕切る団長のなり手がいないという問題が起きました。団長になると家族が巻き添えになる、というのです。

確かに、ただでさえ大変な役目を担う団長にさらに負担だったことがありました。例えば、みこしが海を渡った後に振る舞う豚汁。当時、何百人分もの豚汁を団長の家族が振る舞っていました。来賓の受け付けもそうでした。

少しでも団長の負担を減らして、若い人が青年団の一員として祭りを担ってほしい。そんな思いから9年前、安島を考える会で協議して、婦人会に協力ををお願いすることにしました。

#### 祭りから広がる協力体制 縦と横 対話の濃さが結束力に

話し合いが成り立つのは、「祭り」のときの協力体制があったことが大きく影響していると思います。親子ほども年が違うのに、対等に話ができる。これはとても大事なことです。なかなかいい伝統だと思います。

十分なコミュニケーションをとることで、祭りも地域も円満に続いていくことを、私たちは経験して分かっています。





#### 強い絆の秘訣①

### 技術を支える精神 それを伝えるのが使命

表児の米保存会  
会長 東 成穂さん(61歳)

表児の米の歴史は、300年以上といわれています。飢饉のときも戦争のときも、欠かさずに行われてきました。その歴史を絶やさないためにも、「表児の米」という神事の“正しい方法”を、次の世代へ伝えていかなければならないと思っています。

例えば、“大切なこと”が米のかち方に表れています。正しく杵を扱わないと相手にけがをさせる。けがで神事を汚せば、その歴史は絶たれます。だから譲り合い、思いやり、協調することが大切なです。これらは、ともすれば忘れられがちな精神です。技術だけでなく、その裏側にある「精神」を、神事を通してきちんと伝えること。それが私たちの使命です。

表児の米当日までの半年ほど、担当区は米かちの練習を含めいろんな準備をします。それが区内の人同士顔を合わせるいい機会になっているのです。伝統がふれあいを生み、人の輪や和が広がるのです。



#### 強い絆の秘訣②

### 理由を知ることが 伝統継承の基本

団地造成当時からの住人  
児島 秀隆さん(65歳)

私が住む「4区」は、団地造成当初は4区ではなく、2区の中に含まれていました。もともとの住人への遠慮があっただけ、当時は区の行事には無関心でした。人口が増えても、4区の人が多くがまさか自分たちも杵を振るうことになるうとは思っていませんでした。

では、なぜ4区も神事に参加するのか。一ものごとには、すべて理由があります。表児の米で、なぜおたしよりをするのか、なぜ米かちをするのか、理由や意義を保存会の人たちがきちんと私たちに伝えてくれたからなのです。

伝統を守るのは大切なことです。でも、時代の変化に伴って改良することも必要に思います。神事に関して、新しく入ってきた人や若者が神事に参加しやすいように、ふんどしではなく「股引き」の着用を許可してもらいました。

理由を知って、納得する。人が交わりやすいよう、時代に即して考える。北横地区に連帯感があるのは、その積み重ねをしているからなのではないでしょうか。

県の無形民俗文化財に指定されている、表児の米。この神事のいわれや、神事を通して人のつながりをよく知る皆さんに聞いた。



磯部公民館 館長  
柴田 敏久さん(68歳)

### 人と人との結びつきは しきたりを守ることから

表児の米は、十郷用水流域の村々が五穀豊穡への祈りや感謝の意を表して、その年の

初穂米を搗き蒸して奉納し、お下がり参拝者に分けたのが始まりとされています。大

正2年ごろの裸体禁止令までは、ふんどし一枚を身にまとっただけの裸祭りでした。何人もで米をかつ勇壮で特異なスタイルの神事は、江戸時代から脈々と受け継がれ、現在も多くの人々を魅了しています。

#### 伝統が区民を一つにする

実は「おたしより」という言葉には、平穩という意味があります。この祭りの本来の目的は、五穀豊穡を祈ることだけではありません。農家であろうが非農家であろうが、北横地区民は布久漏神社の氏子。氏子全員の幸せ、一軒一軒の繁栄を願うものであるはずです。だからこそ、この区に新しく来た人にも、祭りには参加してもらい、伝統を受け継いでもらっているのです。

北横地区は、今では移り住んできた人の方が圧倒的に多くなりました。団地の人たちは、ふんどしになる祭りに初めは非常に抵抗があったようです。でも、表児の米保存会を中心に祭りの伝統などをお話していくうちに、少しずつ理解してもらえるようになりました。今では、団地の人だけでなく立派に米かちを執り行えるほどになりました。本当に素晴らしいことです。

大変なこともあります。顔を合わせて話し合いをすることで、もともとの集落と団地、双方の考えが理解できると実感しています。



米を搗つ ～米かち～

## もう一つの伝統 表児の米

300年以上の歴史があるこの神事を受け継いでいるのは、団地が増え、新しい住人が7割を占める区だ。

なぜ、新しい住人に神事が受け入れられているのか。理由はその歴史の長さだけではない。



魅せる ～盤持ち～



地を鳴らす ～おたしより～



たたく ～むしろ叩き～

**市** 十郷用水にはぐくまれた北横地区南部の旧国道沿いに広がる、丸岡町北横地区。十郷用水の恵みを受け、古くから農業が盛んだ。50年ほど前には100戸ほどだったこの集落も、今や500戸を超える。

表児の米が行われる布久漏神社は、この地を拠点に十郷用水の開発に力を注いだ円媛(継体大王の娘を合祀している。集落にある「1区」から「4区」までの4つの区が、毎年持ち回りで担当。米のかち方などのしきたりは、表児の米保存会が忠実に継承している。

#### 4つの区が一つになる神事

**よ**いとこせー、よいやなー。表児の米研修会館いっぱいに輪になると、「おたしより」が始まる。肩を組み、伊勢音頭の一節を唄いながら、激しく床を踏み鳴らす。神社で杵をもらい受けた、いよいよ「米かち」だ。子どもから大人まで、白を6人から12人で囲み、表児の米の唄に合わせてリズムカルに米を搗く。臼の周りを飛び跳ねながら搗いたり、途中で人数を増やしたりと、高度な技が観衆を飽きさせない。米かちの合間にあるのが「盤持ち」だ。力自慢のパフォーマンスで、見事白が持ち上がると、観衆から拍手が沸き起こる。米かちを7白ほど繰り返した後は、「むしろ叩き」で締める。むしろの上に落ちた米を集めるためのものだ。2人がむしろを引っ張りあいながら、これもリズムカルに叩き上げる。初めから終わりまで、躍動感と遊び心にあふれた神事だ。





思いが一つになる

誇りになる

# 結ぶ

…… 住民の意識がまとまっていく…… まちづくりの原点

**市** 内には、さまざまな祭りがある。いつの時代も、郷土愛という「共通の意識」で受け継がれている祭り。そこには、役割と責任を自覚した住民の情熱と、脈々と息づく伝統を感じずにはいられない。

## 地

地域の伝統を守り伝えるーそれにかかわる皆さんから異口同音に聞かれたのは「祭りが、地域の中のいろんな世代の人を結び付けている」という言葉だ。表児の米保存会の東会長は言う。「祭りを通して感謝や思いやりという精神が培われていくだけでなく、人の絆や一体感も強まっています。だから、たとえ今災害が起こっても、住民の心がバラバラになったりはしないと思います」。

連日報道された、奄美大島の豪雨被害。安島区も、かつて同じように全国から注目された。平成9年のロシアタンカー・ナホトカの重油流出事故だ。安島の海は一夜にして真っ黒に染まり、悪臭を放った。住民たちは奮い立った。この海を守りたいと、大人も子どもも油まみれになってバケツリレーをする姿が全国の人たちの心を動かした。地元住民の一体感はこちらでも威力を発揮した。安島の海は美しさを取り戻し、今、私たちに豊かな海の恵みを与えてくれている。

表児の米を担当したときの印象を、児島さんはこう語る。「たくさんの方の助けを借りながら、新しい住人が歴史ある行事を一貫して成し遂げた。このとき、本当に地域の中に入れたと実感したし、一体感も強まりました。この一体感が、また地域の新しい仕組みを作っていくんでしょね」。

## 一

体感ー近年、古くからの祭りがなく、市内が増えてきている。まちづくり協議会などが中心となり、祭りに代わる新しい「伝統」を創ろうとしているからだ。行事の中で住民が顔を合わせ、協力し合い、ともに行動することで「共通の意識」が育っている。

## 住

民の意識がまとまっていくこと。これは地域コミュニティの形成に必要な要素だ。災害時だけでなく地域の活性化のためには欠かせない。

地域の文化や風土に根づく祭りも、新しく生まれる伝統も、住民の意識を一つにするためのものではない。主体的に続けていくことで、地域の品格や活力を保つと同時に、揺るぎない絆を生み出すのだ。

つながりが希薄になりがちな現代だからこそ、地域独自の絆を意識したい。そうした絆こそ、やがては市全体の活力になっていくはずだから。

特集「伝統が生みだす絆」終わり

まちの活力になる

絆が生まれる







▲色とりどりの陣羽織や戦国衣装が、祭りをより華やかに



▲衣装生地は地元業者から提供されたもの。  
“地産地消”の衣装をまとい、いざ出陣



▲▼「磨留乎迦のひかり」が5年ぶりに復活。子どもたちの書いた絵や手紙があんどんになり、霞ヶ城公園内を幻想的な明かりで照らした



▲高校生武将隊による、刀や槍を使った迫力満点の演舞



▲威勢のいい太鼓や曲に合わせ、約1500人が大いに踊った総踊り

## 場所や雰囲気を一変し 高校生も祭りに“参戦” 10月10日(日)

「お天守おじゃれ！」をテーマに、第42回丸岡古城まつりが丸岡城下で盛大に開催されました。今年はメインステージを一筆啓上茶屋前に移したほか、大名行列や総踊りも丸岡城の見える場所で実施。恒例の五万石パレードには初めて地元高校生が参加し、「柴田勝豊」など歴代城主に扮した高校生武将隊や、オリジナルの戦国衣装を身にまとった三国高校家政科の生徒が、祭りに華を添えていました。



▲朱印帳を持って、丸岡城や城下の名所を巡ったスタンプラリー



▲勇ましくもかわいらしい「子供大名行列」の奴たち



▲日が沈むと、ライトアップされた城が浮かび上がる

## ライフラインの即時復旧目指し 管工事業協同組合と協定 10月1日(金)

災害時の応急対策業務のさらなる充実を図るため、市は市管工事業協同組合と協力協定を締結しました。協定内容は、災害時に市の要請に基づき、同組合が上下水道の復旧に向けて迅速に対応するというもの。市役所で行われた締結式で、同組合の角谷雅和代表理事は「組合員の意識を高めて、有事の際は一丸となって復旧に努めたい」と心強く話していました。



▲協定書を手に握手を交わす市長と角谷代表理事

## 長寿を祝い 三国地区で敬老会 10月9日(土)

三国地区敬老会を三国体育館で行い、75歳以上のお年寄り約1000人が集いました。式典では、雄島小学校6年の大谷祐貴さんが敬老作文を朗読。野球の楽しさを教えてくれたおじいちゃんへの思いをつづった作文に、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。三国北幼稚園児による歌や踊りなども披露され、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。



▲敬老作文に深く耳を傾けるお年寄りたち



▲「ここは威圧と尊敬が入り混じる場所」と話す川井さん(左)。さまざまな苦悩を表現した作品約60点を展示。11月28日まで

## 小野忠弘氏の孫・川井さんが 祖父の“故郷”で個展 10月1日(金)

現代美術作家・川井健司さんの個展「人間迷路」がONOメモリアルで開催中です。川井さんは、人間の苦しみや痛みをテーマに、針金を使った造形などを手掛けています。偉大な祖父への複雑な思いから、対峙するためにここでの開催を決意したという川井さん。作品には「苦悩からも這い上がってほしい」というメッセージが込められています。



▲お年寄りたちの飾らない演技が大笑いを誘った「ババーズ」の公演

## お年寄りの“元気”が一同に シルバーフェスタを開催 10月9日(土)

県シルバー人材センター連合による「ふくい元気・シルバーフェスタ2010in坂井」がハートピア春江で行われました。県内15のシルバー人材センターの取り組みの紹介や、会員相互の交流を目的に開催。市民劇団「ババーズ」による公演やアトラクションのほか、各センターのテントでは特産品などが販売され、会員や多くの来場者でにぎわっていました。



## お菓子求め、まちなかを散策 まち協がハロウィーンイベント 10月30日(土)

ハロウィーンを通して地域を知ってもらおうと、みくに地区まちづくり協議会は町内の31店舗と協力して「ハロウィーンマップ」を作成、お店を訪ねてお菓子をもらうイベントを行いました。約70人の子どもが参加。マップ内のお店を回って「トリック・オア・トリート（お菓子をくれないと、いたずらするぞ）」と言い、次々にお菓子を手にしていました。



▲仮装をすれば、おまけでお菓子がもう一個。多くの子どもが思い思いの仮装をして参加



▲場面ごとに使い分けられる能面に見入る来場者

## 貴重な資料の数々を一堂に 民俗芸能や年中行事 特別展 10月30日(土)

市内に伝わる民俗芸能や年中行事を知ってもらおうと、みくに龍翔館で特別展「神楽・左義長・表児の米一坂井市域の年中行事から一」が開かれています。日向神楽（丸岡町長畝）で使用する能面や表児の米（丸岡町北横地）で使用する杵と臼をはじめ、普段目にすることができない貴重な資料の数々に、多くの来場者が見入っていました。11月28日まで。

## 秋を彩る芸能・芸術の数々を 10月30日(土) 11会場で盛大に披露 ～11月4日(木)



▲優雅な吟舞（真舞流吟舞道会・丸岡支部）

第5回坂井市民文化祭が盛大に開催されました。ハートピア春江で行われた総合開会式では、式典のほかオープニングとして各支部から4団体が出演し、吟舞や太鼓、箏曲などを披露。また、市内11の会場では、支部ごとに多彩な作品展示や芸能発表が繰り広げられるなど、芸術の秋にふさわしく、期間中は市内が文化芸術の薫りに満ちていました。



▲華麗な吟舞（宗生流吟の舞・丸岡支部）



▲威勢のいい太鼓（木部新保鬼太鼓保存会・坂井支部）



▲箏と尺八の妙なる調べ（雅・三国支部）



▲息の合った花笠踊り（すみれ会・春江支部）

まちの話題が満載の「フォーカス」は、市のホームページ（<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>）からもご覧いただけます。ホームページでは“ホット”な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。

## スポーツと交流の輪を 市民スポーツ祭を開催 10月11日(月・祝)

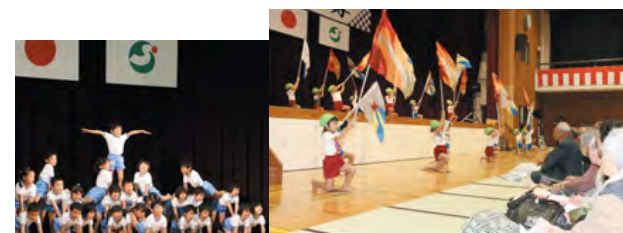
元気でいきいきとしたスポーツライフを一。第5回坂井市民スポーツ祭が、市内各地で行われました。ソフトボールやテニスなど各種競技に約1733人が参加し、日頃の練習の成果を競いながら心地よい汗を流しました。また、誰でも気軽に参加できるスポーツフェスタも同時開催。多くの親子連れらが訪れ、ニュースポーツなどを楽しんでいました。



▲青空の下行われたソフトボール競技

## 長寿を祝い 坂井町で敬老会 10月23日(土)

坂井地区敬老会が坂井体育館で開かれ、坂井町内に住む75歳以上のお年寄り約600人が参加しました。るんびに保育園と大関保育園の園児による発表が行われ、かわいらしい太鼓の演奏やカラーガード、組み体操などで長寿を祝福。子どもたちの気持ちに応えるかのように、会場のお年寄りからは大きな拍手が沸き起こっていました。



▲◀この日のために練習した成果を、お年寄りの前で元気に披露



▲設置場所の雰囲気に合わせた花器と生け花が、来場者の目を楽しませたコラボ展

## 器の芸術と花の芸術がコラボ 10月10日(日) 三国の情緒と見事に融合 11日(月・祝)

本市とあわら市、加賀市でつくる越前・加賀みずといで湯の文化連邦は、旧森田銀行や旧岸名家、三国湊町家館で「花と器のコラボ展」を開催しました。3市が誇る「三国焼」「芦原焼」「九谷焼」などの工芸品に、華道家が花を生けたコラボ作品35点を展示。来場者は、三国の情緒ある建物に溶け込んだ、花器と生け花の共演をじっくりと鑑賞していました。

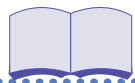


▲地域住民が見つめる中、破損した水道管の組み換えを行う名古屋市の水道局職員

## 相互協力で早期の災害復旧を 3県合同で水道防災訓練 10月22日(金)

地震により水道管が破損し、断水が起きたとの想定で、日本水道協会中部地方支部の合同防災訓練がハートピア春江で行われました。福井、石川、岐阜県の10市町と名古屋市のほか、市管工事業協同組合、地域住民ら約200人が参加。各県支部ごとに異なる工法で水道管の破損を復旧するなど、互いに有事の備えと相互の応援体制を確認していました。





## 住基カードでも本の貸し出しが可能に

新サービスでは、住民基本台帳カード(以下「住基カード」)でも本を借りられるようになります。すでに住基カードをお持ちの人は、新たにカードを持ち歩く必要がなくなります。

### 申請の手順

- ①図書館で新しい図書利用カードを作成する
- ②市役所で住基カードを作成する。その際に、図書館で利用できるよう設定しておく
- ③図書館で住基カードと図書利用カードの両方を提出する



以降は、住基カードのみで本の貸し出しが行えるようになります。

※同様のサービスを、県立図書館やあわら市立図書館などでも実施しています

## いろいろ便利な住基カード今なら、発行が「無料」!

図書利用カードとしても利用できるようになり、ますます便利な住基カード。交付手数料500円を、23年3月末まで無料にして発行しています。

### 住基カード ここが便利!

- ・身分証明書として  
顔写真付きの住基カードは、運転免許証などと同様に公的な身分証明書として利用できます。
- ・複数のカードを一つに  
図書利用カードのほか、印鑑登録カードとしての利用もできます。
- ・証明書自動交付機が利用可能に  
自動交付機の利用で、夜間や休日でも住民票、印鑑登録証明書、所得課税証明書が取得できます。  
自動交付機は市役所本庁のほか、あわら市役所やセントピアあわら、AOSSA(福井市)などにも設置してあります。

住基カードの発行手続きは、各総合支所市民課で受け付けています

☎市民生活課 ☎50-3030

または各総合支所市民課まで

CDやビデオも  
2週間まで借りられるようになるのね♪



▲新しいトップページ

本や絵本、紙芝居などは4館合わせて10点、CDやビデオなど視聴覚資料は4点まで、最大14点を、2週間まで借りることができます。

新しいホームページでは、これまで4館ごとに個別に管理していた蔵書を統一します。4館あわせた蔵書数は、全58万冊。ホームページ上、これらの蔵書を一括して検索・予約することができるようになります。

また、インターネットでの予約もこれまでよりも簡単にできるでしょう。さらに、携帯電話からの予約も可能になります。

予約用の4桁のパスワードをホームページ上で入力してログインすれば、申し込み中の予約本の一覧や予約状況がいつでも確認できます。

利用希望者にはパスワードを発行しますので、申し出てください。

総合  
その3 貸し出し冊数は  
本10冊、視聴覚  
資料は4点まで

総合  
その4 ホームページがリニューアル  
予約も簡単に

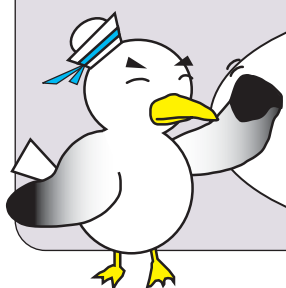
システム統合作業のため  
4館を臨時休館します

統合に伴う作業のため、次の期間は全館休館させていただきます。

12月13日(月)～  
1月4日(火)

休館期間中、皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

期間中の本の返却は、ブックポストをご利用ください。県立図書館の本も返却できます。



新システム開始は  
1月5日(水)から。  
皆さん、どうぞお楽しみに!

図書館からの  
お知らせです

# 1月5日から 共通利用カードに

システム統合で  
一層便利になります

☎みくに図書館 ☎81-29000 まるおか図書館 ☎67-15000  
☎はるえ図書館 ☎51-8810 ☎さかい図書館 ☎67-2666

新

たなサービスを市民のみなさんに提供し、より利用しやすい図書館とするために、図書館のシステムを統合します。

総合  
その1 市内4図書館が同一の休館日に

4館とも、休館日が毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日が休館)と毎月第1木曜日(1月を除く、祝日の場合は開館し翌週木曜日が休館)になります。

開館日をそろえることで、図書館間の蔵書を効率よく回送することができ、利用者の皆さんにいち早く予約本をお届けすることができま

す。なお、年末年始の休館や、開館時間は変わりません。

総合  
その2 図書館利用カードが全館共通に

各館ごとに異なっていた、図書利用カードを统一到1月5日以降、窓口で新しいカードと交換しますので、申し出てください。

これまでのカードが…



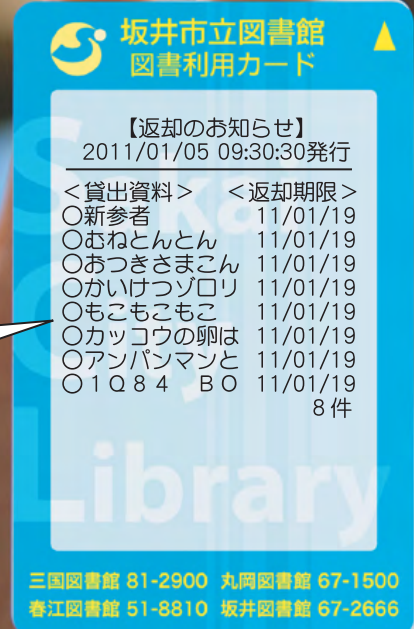
## 新登場! リライトカード

「更新日、貸し出し資料のタイトル、返却期限、貸し出し冊数」を書き換えできるリライトカードです。

本を借りるたびに、自分が借りた本や資料のタイトルや返却日が記入されていきます(最大14件)。

新しいカードへの変更に伴い、これまでの利用カードは使用できなくなります。

新しくなります!



カードも休館日も統一されて、分かりやすくなるのう。





市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。

## 借金はいくらでも解決できます！ 債務整理特別無料相談会を開催

● 問い合わせ 市民生活課 ☎50-3030

**借金** 金の悩みはありませんか。債務整理をすれば負担が減る、借金がなくなる可能性があることをご存知でしょうか。

弁護士や司法書士、相談員が相談に応じます。

とき

11月28日(日)

① 10時～12時

② 13時30分～15時30分

11月29日(月)

③ 10時～12時

④ 13時30分～15時30分

こんな人へ

- ・借金を返済しているが、いつになっても完済しない
- ・借金返済のために借金をしている
- ・借金が多すぎて生活が立ち行かない など

## 日本脳炎のワクチン接種について

● 問い合わせ 健康長寿課 ☎50-3067

**日本脳炎** 本脳炎第2期(9歳以上13歳未満)の人について、新しいワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が使用できるようになりました。また、接種勧奨差し控えにより日本脳炎第1期の3回が完了していない人に対し、不足分の接種が受けられるよう特例措置が設けられました。

対象となる人で接種を希望する場合は、健康長寿課まで申し込んでください。

■日本脳炎の第1期(初回2回・追加1回)の計3回を接種していない人で、

| 7歳6カ月未満の人                              | 7歳6カ月を超えている人                 |
|----------------------------------------|------------------------------|
| ↓                                      | ↓                            |
| 7歳6カ月までまたは9歳以上13歳未満の間に、残りの回数を無料で接種できます | 9歳以上13歳未満の間に、残りの回数を無料で接種できます |

## 障がい者の就労を応援する セミナーを開催

● 問い合わせ 社会福祉課 ☎50-3041

**働く** 働く意欲のある障がい者をサポートする仕組みを分かりやすく説明します。

また、障がい者を積極的に雇用している企業経営者の生の声をお届けします。

障がい者やその家族のほか、企業や一般の人にも聞いていただきたい内容です。

とき

11月21日(日)

13時30分～15時45分

ところ

いねす 交流ホール

### ■セミナー内容

講演① 「働く障がい者を支える支援の輪」  
講 師 元ハローワーク敦賀 ほんだ ただお 本田 忠生氏

講演② 「あなたの力を発揮してください  
～企業が障がい者に求めるもの～」

講 師 エイティーンズ電子工業株式会社 にしの ひさき 代表取締役 西野 恒樹氏

講演後は相談窓口を設けます。就労や生活のことなど、気軽ににご相談ください。

## 第11回「そばの里丸岡 新そばまつり」を開催

● 問い合わせ 丸岡そば振興協議会 (丸岡総合支所地域振興課内) ☎68-0801



▲名人による実演のほか、そば打ち体験も実施

### おしながき

そば1杯 350円  
そば3杯 1,000円  
そばぜんざい 150円

※先着100人に「そばボン菓子」をプレゼント  
※そば粥(100食限定、11:00～)、そば団子汁(100食限定13:30～)の試食もあります

とき

11月20日(土)

10時～15時

ところ

霞の郷 多目的ホール



## 第10回記念公演は中身もスケールアップ！ 豆役者たちの演技をご堪能ください

● 問い合わせ (財)丸岡町文化振興事業団 ☎67-5100  
http://maruoka-fumi.jp



▲公演の抱負を語る役者たち(5月12日・開講式にて)

**本** 物の役者にも引けを取らない演技で毎年大好評の「まるおか子供歌舞伎」。

今年10回を記念し、過去の子供歌舞伎に出演した中学生も特別に出演。歴代の役者たちが、皆さんに最高の演技をお見せします。

とき

11月20日(土)

① 13時30分～16時30分

② 18時30分～21時30分

11月21日(日)

③ 13時30分～16時30分

ところ

磯部小学校 旧体育館

協力金

一般 2,000円

小・中学生 1,000円

### 今年で10周年！「まるおか子供歌舞伎」

松竹(株)から寄贈された大阪道頓堀中座の破風や緞帳を生かすために誕生したのが「まるおか子供歌舞伎」です。

平成13年(2001年)の第1回公演から10年目。多くの子どもたちが歌舞伎の舞台を通して成長してきました。今年の舞台にもどうぞご期待ください。



◀ 昨年(第9回)の公演より

**演 目**

舞踊  
長唄「君が代 松竹梅」

歌舞伎  
「仮名手本忠臣蔵」  
三五七段目

「松竹梅」「鶴亀」などのめでたい言葉の数々とともに、場面の展開ごとに変わる多様な舞をご覧ください。子どもたちが時に優雅に、時に華麗に舞い踊ります。

誰もが知っている「忠臣蔵」を題材にした、「歌舞伎の独参湯・特効薬」と称されるほどの、公演のたびに大入りとなる人気作品を演じます。

子どもたちの愛憎溢れる演技にご注目ください。

| シャトルバス 11/20・21<br>まるおか子供歌舞伎 1号車                     |                             |
|------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 坂井市役所丸岡総合支所<br>(昼の部)<br>① 12:40<br>② 13:00           | (夜の部)<br>① 17:40<br>② 18:00 |
| 会場<br>(昼の部) ① 16:40 ② 17:00<br>(夜の部) ① 21:40 ② 22:00 |                             |
| 坂井市役所丸岡総合支所                                          |                             |

※21日は、昼の部のみです。なお、その時の状況により、時間が変更になる場合があります

| シャトルバス 11/20・21<br>まるおか子供歌舞伎 2号車       |                                                                   |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 坂井市役所三国総合支所<br>坂井市役所 本庁<br>坂井市役所春江総合支所 | (夜の部)<br>11:50 16:50<br>12:20 17:20<br>12:35 17:35                |
| 会場 発                                   | (夜の部)<br>16:40 21:40<br>16:55 21:55<br>17:15 22:15<br>17:40 22:40 |
| 坂井市役所春江総合支所<br>坂井市役所 本庁<br>坂井市役所三国総合支所 | (夜の部)<br>16:40 21:40<br>16:55 21:55<br>17:15 22:15<br>17:40 22:40 |

**託児所を開設します**

乳幼児の入場はご遠慮ください。会場の一角に託児所(乳幼児・小学生低学年)を設けます。

原則として予約制ですので、あらかじめ事業団まで申し出てください。

**シャトルバスを運行します**

会場近くの駐車場は限られています。市役所および各総合支所からシャトルバスが出ますので、混雑を避けるためにぜひご利用ください。

車でお越しの場合も、できるだけ乗り合いでお越しください。



# Topics トピックス

まちの話題をお届けします。

## 丸岡観光協会が奉仕作業

10月21日

丸岡町内の観光地美化活動の一環として、丸岡観光協会(松本富男会長)は称念寺の清掃奉仕作業を行いました。会員15人が参加し、約2時間、境内に積もった落ち葉をくま手で拾い集めたり、草刈りや低木の剪定などをしました。同寺の高尾察誠住職は、「なかなか管理の行き届かない境内を善意で清掃していただき、訪れた観光客にも喜んでもらえます」と感謝していました。



▲境内の新田義貞公墓所前を清掃する会員ら

## 奈良・西大寺へ高椋米を献上

10月27日

たかむくのまちづくり協議会は、西大寺(奈良県)へ“高椋米”を献上しました。奈良時代に、丸岡町高椋地区に西大寺の荘園があったと推定されたとした文献に基づき、当時は模した「献上米」を企画。高椋田んぼアート事業で収穫したコシヒカリ3俵(180kg)と古代米10kgを届けました。同協議会では「コシヒカリの里をPRするだけでなく、お互いの交流を深めていきたい」と考えています。



▲同協議会員16人が西大寺へ

# Hot Line ホットライン

## ご存知ですか？成年後見制度

### ● 問い合わせ

三国坂井地域包括支援センター(三国)☎82-7576(坂井)☎50-3063  
丸岡春江地域包括支援センター(丸岡)☎68-0811(春江)☎51-9404

**成年後見制度の種類**  
成年後見制度は大きく分けて「法定後見」と「任意後見」の2つに分類されます。さらに、法定後見については、本人の判断能力の程度に応じて「後見」「補佐」「補助」の3つの制度に分類されます。

**成年後見制度は、認知症の高齢者や精神障がいのある人など、判断能力が不十分な人が不利益を被らないよう、法律的に保護・支援する制度です。**  
被害防止の観点や将来の安心のため、成年後見制度の重要性が高まってきています。

### 法定後見

判断能力が不十分な人が利用する制度で、判断能力の程度によって後見・補佐・補助に分かれています。  
後見…判断能力がまったく不十分な人  
補佐…判断能力が著しく不十分な人  
補助…判断能力が不十分な人

### 任意後見

将来、判断能力が不十分になったときに備えて、後見人や代理権の内容・範囲などをあらかじめ契約で定めておく制度です。

### 成年後見制度の活用例

成年後見制度は、次のような事例でお困りの人が、問題を解決するときに利用できます。

成年後見制度について詳しくは、お近くの地域包括支援センターへお問い合わせください。

を適切に維持管理しなければなりません。

そのため、本人に代わって契約を行ったり、本人が行った契約の同意や取り消しを行う権利などが与えられます。

成年後見人の仕事は定期的な家庭裁判所に報告・監督されます。本人の財産を不適切に管理した場合、成年後見人を解任されるほか、損害賠償請求を受けるなどの責任を問われたりします。

①年金生活の一人暮らしの高齢者が、訪問販売で必要もない高額商品を買ってしまう  
②寝たきりの祖母の財産管理をしているが、叔父や叔母から何かと疑われてしまう  
③認知症の母の不動産を売却して、老人ホームの入居費用に充てたい  
④認知症の母と同居している兄が、母の年金を私的に使っている

## 納税通知書送付用封筒に 広告を掲載しませんか

### ● 問い合わせ 課税課 ☎50-3023

**市** 民税や固定資産税などの納税通知書を送付する封筒に掲載する有料広告を募集します。

詳しい掲載条件や申込書のダウンロードなどは、市ホームページをご確認ください。

**募集枠数** 3枠  
**掲載規格** 5cm×5cm

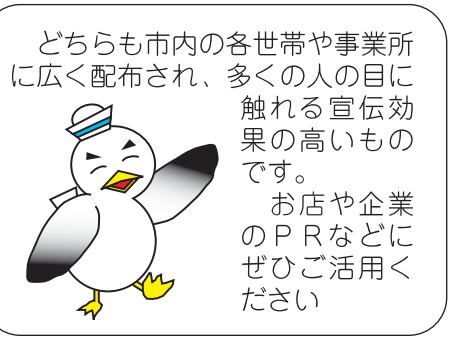
## 水道料金検針票に 広告を掲載しませんか

### ● 問い合わせ 総務経理課 ☎51-9100

**水** 道メーターの検針時にお届けしている「使用水量・料金などのお知らせ」(検針票)に掲載する有料広告を募集します。

詳しい掲載条件や申込書のダウンロードなどは、市ホームページをご確認ください。

**募集枠数** 1枠  
**掲載規格** 縦10cm×横7.2cm  
**配布枚数** 約33000世帯×3回分  
※4・6・8月は三国地区と春江地区に配付  
※5・7・9月は丸岡地区と坂井地区に配付



**掲載料** 2色 20万円  
3色 25万円  
4色 30万円  
※黒1色を含む

**募集期間** 11月15日(月)～12月10日(金)

**【掲載イメージ】**

検針票 裏面 **広告欄**

# FROM 市長

## 行政改革の中間報告 財政効果は24億9600万円

市長定例記者会見が10月8日(金)に市多目的研修会施設で行われ、坂本市長は次のように述べました。

### 行政改革の取り組み状況

平成19年に策定した「坂井市行政改革大綱」に基づき、これまで行政改革を進めてきました。

21年度までの決算をもとに改めて検証した結果、3年間で24億9600万円の財政効果を生むことができました。

行政改革により生み出された財源は、さまざまな市民ニーズへの対応や、安心安全な暮らしの確保などに充てています。

21年度の税収が前年比8億8900万円減と、今後も厳しい財政状況が予想される中、より一層の行政改革を推進し、市民サービスの向上を図っていきます。

### ■下水道統一料金表(23年5月から、1ヵ月当たり)

| 料金区分 | 使用水量                 | 料金単価   |
|------|----------------------|--------|
| 基本料金 | 10m <sup>3</sup> まで  | 1,155円 |
| 超過料金 | 11～30m <sup>3</sup>  | 126円   |
|      | 31～50m <sup>3</sup>  | 136円   |
|      | 51～100m <sup>3</sup> | 157円   |
|      | 101m <sup>3</sup> 以上 | 178円   |

※三国地区および春江農業集落排水地区が変更になります。その他の地区は従来どおり

### 23年5月から

### 市内の下水道料金を統一

市の下水道使用料は、18年3月の合併以降、旧町の料金体系を維持したまま現在に至っています。

料金システムの効率化を図るため、23年5月使用分から使用料を統一します。



開催

event information

竹田水車メロディーパーク内
物販所「たけだや」
初の収穫感謝祭

ジネンジョなどの
地元特産物、山
菜や農産加工品の
販売と「竹田まる
そば」などのうまいもん市を開
きます。イベントも盛りだくさん。
ぜひお越しください。
と き 11月21日(日)
9:00～16:00
ところ 竹田水車メロディーパー
クおよび竹田小中学校
体育館

イベント内容

- ①春江工業高校
乗り物体験
(10:00～15:00)
▶自慢のバッテリーカーが集合
- ②きな粉もちの振る舞い
(11:00、15:00の2回、各先着60人)
- ③和太鼓演奏(11:30～12:00)
市指定無形民俗文化財「火
の太鼓」
- ④木工クラフト体験(13:30～16:00)
竹田公民館(☎67-2543)ま
で事前に申し込んでください。
参加費 500円
定 員 先着50人
対 象 小学生とその保護者
- ⑤エコ農産物収穫体験
(10:00～11:00)
エコ農産物、コマツナの収
穫を体験します。11月16日(火)
までに坂井農林総合事務所(☎
81-3222)まで申し込んでく
ださい。
定 員 先着15人
☎竹田水車メロディーパーク
☎68-0364

人生儀礼について学ぶ
マナー講座を開催

知っているようで意外と知らな
い、七五三、結婚、厄年、還暦など、
人生の節目の習わしについて学
びます。この講座は、福井ライフ・
アカデミーの共催事業です。
と き 12月3日(金)
10:30～11:40
ところ 高棕公民館
講 師 多禰神社 宮司
武曾 豊美氏
申込方法 下記まで電話
☎高棕公民館☎68-0843

第5回 楽楽介護塾を開催

介護サービスの種類や相談窓
口について学ぶほか、在宅介護
で利用できる施設の見学も行い
ます。
と き 12月17日(金)
10:00～12:00
ところ 坂井老人福祉センター
定 員 先着20人
コース ①ガーデンハイツ春江
→ライフクリニック
はるさか
②まるおかデイサービ
ス→ディーバあかね
申込開始 11月17日(水)から
☎市社会福祉協議会はるえ支部
☎51-4545

家庭教育講座を開催

と き 11月28日(日)14:00～
ところ 春江中公民館
演 題 「子どものゆめ、大人の夢～
命を輝かせるための家庭教育」
講 師 福井家庭教育研究所
所長 荒川 典子氏
☎春江町明るい社会づくり推進協議会
事務局 西嶋☎51-9639

夜間エイズ相談・検査を
実施します

12月1日は「世界エイズデー」
です。この日に合わせ、夜間のエ
イズ相談・検査を行います。
検査は無料・匿名・予約不要で
受けることができます。検査結
果は再度来所していただき、直
接本人にお知らせします。
と き 12月1日(水)
17:00～19:00
ところ 坂井健康福祉センター
(あわら市春宮2丁目
21-17)
なお、相談・検査は定期的に実
施しています。正確な結果を出
すために、感染の可能性があっ
た日から3カ月以上経過して検
査されることをお勧めします。
検 査 第2・第4水曜日
9:00～11:00
相 談 平日8:30～17:00
☎坂井健康福祉センター
☎73-0600

認知症の人と家族の会
坂井地区つどいを開催

今回のテーマは「使いましょ
う介護サービス」。勉強会では、
認知症の人のためのデイサービ
ス、ホームヘルパー、施設のケア
の内容などについて紹介します。
そのほか、意見交換会も行います。
認知症への不安や介護の悩み
を抱えた人など、誰でも参加で
きます。
と き 11月28日(日)
13:00～16:00
ところ 市多目的研修集会施設
3階大ホール
☎認知症の人と家族の会
(特別養護老人ホーム白染荘内)
担当 川寄、山田☎82-1282

募集

invite information

税務事務の
アルバイトを募集

確定申告期の事務アルバイト
を募集します。勤務内容は、課税
資料の整理と確定申告会場での
補助作業です。
募集人数 若干名
応募条件 簡単なパソコン操作
のできる人
勤務期間 23年1月14日(金)～
3月16日(水)
勤務地 課税課および各総合
支所申告会場
勤務時間 平日8:30～17:30
賃 金 日額5,600円
(別途通勤費を支給)
申込方法 市販の履歴書に記入
して12月3日(金)まで
に下記へ持参または
郵送(書類審査あり)
☎課税課☎50-3023
〒919-0592
坂井町下新庄1-1

60歳代対象
室内装飾・インテリア講習
受講者を募集

ふすまや障子、壁紙の張り替
えなど、実技・実習中心の講習
会です。無料で受講できます。
と き 12月7日(火)～16日(木)
9:00～16:00
※土日を除く8日間
ところ 春江中小企業センター
対 象 就職を希望する、お
おむね60歳代前半の
人を中心とした60歳
代の人
定 員 20人
(申込多数の場合抽選)
申込方法 ハローワーク福井1階
窓口(福井市大手2丁
目22-18)または県シ
ルバー人材センター
連合(福井市大手3丁
目7-1)まで直接申し
込み
☎県シルバー人材センター連合
☎29-1195

リサイクル

recycle information

ゆずります
漬物重し、室内歩行機(ウォーキングマ
シン)、ダブルベッド、学習机、エレクト
ーン、坂井中学校の男子学生服、システ
ムキッチン、二段ベッド、CDコンボ、あ
んま機、大人用自転車、女子用自転車(小
学校高学年用)、電子オルガン、冷蔵庫(大)、
乳幼児用チャイルドシート
ゆずってください
乳幼児用チャイルドシート、ミニ耕運機、
わらのむしろ、CDやレコード(レコード
盤なら何でもよい)、電気蓄音機(蓄音機
とラジオが兼用になっているもの)、ぜ
んまい式蓄音機、ミシン、戦前の木綿ふ
とん地や風呂敷、麻のカヤ、古い着物(綿、
絹、麻、小布可)、トースター、掃除機、電
子レンジ、冷蔵庫(中)、マレットゴルフ
のスティック、春江東小学校の冬体操服
(120cm)、男子用自転車(3、4歳児用)、ベ
ビーフェンス(戸ロガード)、天体望遠鏡
申込方法 電話で下記まで
※無償の品物のみ取り扱います
※掲載期間は3カ月(自動継続は
しません)
※品物の細かい指定はできません
※掲載品は掲載者が保管
☎市民生活課☎50-3030

食卓に
もう一品！
食生活改善推進員の
かんたん料理レシピ
牛乳もち
春江地区食生活改善推進員
栄養成分／1人分
エネルギー 137kcal
タンパク質 4.1g
脂質 3.7g
塩分 0.1g
材料／5人分
牛乳 250cc
片栗粉 大さじ5
砂糖 大さじ4
きな粉 大さじ4
黒みつ 適宜
作り方
① 牛乳に片栗粉と砂糖を合わせて火にかけ、ぼっ
てりと練り上げる。
② くっつかないように手をぬらし、①を手早く丸
める。または、スプーン2本を使って形を整える。
③ きな粉をまぶし、お好みで黒みつをかける。
子どもと一緒にクッキング
子育ての最終目的は何でしょうか。「子どもが自立して、
健康に社会で生きること」とすれば、1日3回の食事を自分
で選んで食べることができるという「食の力」をつけてい
くことも、大切な要素のひとつです。
学校では教えてくれない、毎日の食事の経験を積み重ね
ていくことでしか身につについていけない「食の力」。まずは、
料理や食べ物に興味を持てるように、一緒に簡単でおいし
いおやつを作ってみませんか。
☎健康長寿課☎50-3040



## お知らせ

information



### ただいま集計中です

調査票は厳重な管理の下、現在集計作業中です。

調査結果はさまざまな法令の立案の参考になるほか、社会福祉や生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。



企画情報課 ☎50-3013

## 一定面積以上の土地取引は 国土利用計画法に基づく 届け出が必要です

### ■事後届出の必要な土地取引

・都市計画区域外

…10,000㎡以上

・市街化区域以外の都市計画区域

…5,000㎡以上

・市街化区域 …2,000㎡以上

土地の買い主が、契約締結の日を含めて2週間以内に下記まで届け出てください。届け出なかったり、虚偽の届け出をした場合、法律により罰せられます。

☎企画情報課 ☎50-3013

## 従業員の個人住民税は 特別徴収で納入を

従業員の住民税は毎月給与から徴収していますか。

※地方税法により、従業員(給与所得者)の個人住民税は、事業者(給与支払者)が毎月徴収して市に納めなければなりません

所得税の源泉徴収のような税額計算や年末調整は不要です。特別徴収にすれば、従業員の皆さんの納付の手間が省け、納期も増えるので1回あたりの負担額が小さくなります。

実施されていない事業者は、下記までご相談ください。

☎課税課 ☎50-3023

## 11月12日～25日は 「女性に対する暴力を なくす運動」期間です

配偶者や恋人などから、次のような行為を受けていませんか。

・殴る、けるなどの暴力

・生活費や保険証を渡さない

・交友関係を細かく監視される

・外出を制限される など

自分が悪いからだ、などと考えずに、一度ご相談ください。秘密は厳守します。

相談時間 平日9:00～17:00

☎児童家庭課 ☎50-3043

坂井健康福祉センター

☎73-0622

## 11月は 児童虐待防止 推進月間です



児童虐待とは、親などの保護者が子どもに対し、次の行為をすることをいいます。

### 【身体的虐待】

殴る、ける、投げ落とす、激しく揺さぶるなど

### 【ネグレクト】

家に閉じ込める、食事を与えない、不潔にするなど

### 【心理的虐待】

言葉による脅し、子どもの目の前でDVなど

### 【性的虐待】

性行為の強要、性器や性交を見せるなど

このような虐待を受けたと思われる子どもを見つけたら、ためらわずに下記までご連絡ください。

連絡先 ・児童家庭課

☎50-3043

(平日9:00～17:00)

・総合福祉相談所

☎24-3654

(24時間ダイヤル)

未来ある子どもたちのために、一人一人が気を配り、虐待防止につなげるようご協力をお願いします。

☎児童家庭課 ☎51-3043

## 三国税務署からの お知らせ

相続、贈与などにより取得した生命保険契約や損害保険契約などに係る年金の所得税の取り扱いを改めることとしました。

この取り扱いの変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。

詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。

☎三国税務署 ☎81-3211 (自動音声案内)  
国税庁ホームページ

☎http://www.nta.go.jp

## 古い電話帳を 回収します

NTTでは、地球環境・地球資源保護の立場から、古い電話帳の回収を推進しています。

回収期間中、配達員が新しい電話帳を届けに伺いますので、その際に古い電話帳を渡してください(交換方式)。

なお、渡せなかった場合はタウンページセンタまでご連絡ください。改めて回収に伺います。

資源のリサイクル運動にご協力をお願いします。

回収期間 11月1日(月)～30日(火)

☎タウンページセンタ

☎0120-506-309

(平日9:00～17:00)

## 開催

event information

## 坂井市青少年健全育成 推進大会を開催

「地域の子どもは、地域が育てる」の認識のもと、青少年が健やかに成長できる環境づくりを進めるために開催します。

と き 11月27日(土)13:30～

ところ 三国社会福祉センター

内 容 ・青少年育成坂井市民

会議会長表彰

・第5回市子ども会壁

新聞コンクール表彰

・第34回県子ども会壁

新聞コンクール表彰

・壁新聞取り組み事例

発表

・青少年育成団体発表

☎青少年育成坂井市民会議事務局(生涯学習スポーツ課内)

☎50-3162

## ひとり親家庭の 巡回養育費相談

養育費のことで悩んでいる人のために、養育費相談員が相談に応じます。秘密は厳守します。

と き 11月27日(土)

10:00～12:00

ところ 市多目的研修集会施設

1階 会議室

☎児童家庭課 ☎50-3042

## 今月のセルフフェア情報

障がいのある人が県内の施設で作ったパンや焼き菓子、縫製品などを販売します。

と き 12月7日(火)

11:00～14:00

ところ 坂井市役所1階ロビー

☎社会福祉課 ☎50-3041

## 爆笑！パパのお笑い 絵本ライブ

パパジャングルによる無料ライブを行います。

と き 11月20日(土)

13:30～14:30

ところ ハートピア春江

2階会議室

内 容 一部:対決！お笑い絵本バトル

二部:ギターや打楽器を使った絵本歌

☎はるえ図書館 ☎51-8810

## あいうえお話し会 秋のスペシャル朗読会

と き 11月23日(火)11:00～

ところ ハートピア春江

2階 和室

内 容 「きいろいばけつ」「にくをくわえた犬」「北風と太陽」「やさしい天気

雨」「デューク」

☎はるえ図書館 ☎51-8810

丸岡城を望みながら贅沢な会席  
忘新年会の御予約を承っております

御料理・仕出し・総会結婚式場

料亭 **ほんば**

坂井市丸岡町本町1-53(新町)

Te l 66-0023

マイクロバス(26人乗り)で送迎いたします



## 農産物直売所「いねす市」で好評販売中

農産物直売所「いねす市」  
営業時間 7:00～18:00 (月曜日定休)

いねすの絹とうふ 240円

坂井地域交流センター「いねす」  
坂井市坂井町蔵垣内 34-14-1  
☎0776-72-7600

坂井地域交流センター「いねす」  
指定管理者 株式会社アイビックス  
福井市下馬2丁目101

◀こちらは有料広告欄です

丸岡城の敷地内にある  
お休処 **一筆啓上茶屋** ☎66-5880

丸岡産そば粉を100%使用した手打ちそば(11月下旬から新そば)「福井県人セット」がおすすめ。そば打ち体験もできます(要予約)。自分で打ったそばを丸岡城を眺めながら味わえる。店内では丸岡の特産品も多数販売。

▲福井県人セット 780円

坂井市丸岡町霞町3-1-3 9:00～18:00(年末・年始休み)  
(そば処は年内は17:00まで営業・火曜日定休)

京懐石風  
法事・慶事

御料理 **まつき**

春江町江留上昭和 13-1 ☎51-1811

◀こちらは有料広告欄です



今月の  
ハッピー  
バースデー

おくやみ

9月21日から10月20日までの届け分(敬称略)



みんなとたくさんおそびたい！  
よろしく！！  
きのした せい や  
**木下 聖也**ちゃん  
(1歳・三国町加戸西)  
父:良弘さん 母:康恵さん



おねえちゃんといっしょに  
おどろのがたいすです！  
さか もと  
**阪本 かほる**ちゃん  
(3歳・春江町新為国)  
父:峰大さん 母:綾子さん



ちんちんでんしゃが  
だいすきです。  
たに ぐち けい すけ  
**谷口 慶輔**ちゃん  
(1歳・坂井町花の町1丁目)  
父:正隆さん 母:宏美さん



1歳になったヨ！！  
ときおスマイル絶好調です！  
なか やま とし お  
**仲山 時雄**ちゃん  
(1歳・坂井町上兵庫)  
父:峰雄さん 母:章乃さん

「みんなの掲示板」今月のハッピーバースデー」掲載希望者を募集

締め切りは、掲載希望月の前月5日まで。希望者多数の場合は、掲載できない場合があります。詳しくは秘書広報課まで。

問秘書広報課 ☎50-3012

| 名 前    | 年齢 | 行政区     |
|--------|----|---------|
| 三国町／   |    |         |
| 戸賀 勝男  | 66 | 池見      |
| 高島 政子  | 89 | 下野      |
| 酒井 幸子  | 71 | 平山      |
| 中出 幹雄  | 80 | グリーンハイツ |
| 荒川 未尾  | 95 | 崎       |
| 小林 教治  | 81 | 竹松      |
| 藤野 トセ  | 86 | 安島      |
| 石井 勝男  | 74 | 上西      |
| 矢原 よ志子 | 81 | 横越      |
| 菊地 淑子  | 88 | 城ヶ原     |
| 西出 久子  | 80 | 運動公園    |
| 鰐淵 進   | 50 | 四日市     |
| 能瀬 宏   | 67 | 森町      |
| 三宅 俊安  | 83 | 新保      |

| 名 前    | 年齢 | 行政区    |
|--------|----|--------|
| 春江町／   |    |        |
| 奥島 義弘  | 82 | 為国亀ヶ久保 |
| 伊藤 邦夫  | 78 | 為国西の宮  |
| 田中 つや子 | 86 | 沖布目    |
| 有馬 豊子  | 93 | 中筋大手   |
| 水口 弘進  | 68 | 春日野    |
| 田中 弘幸  | 54 | 江留上昭和  |
| 北村 健治  | 82 | 境元町    |
| 河戸 淳吉  | 84 | 辻      |
| 青柳 俊一郎 | 89 | 東太郎丸   |
| 辻岡 さよ子 | 75 | 正蓮花    |
| 丹羽 正幸  | 77 | 東太郎丸   |
| 田中 裕次  | 81 | 沖布目    |

|        |    |     |
|--------|----|-----|
| 丸岡町／   |    |     |
| 近山 ツルコ | 85 | 近庄  |
| 齊藤 満子  | 89 | 吉政  |
| 藤井 晃   | 86 | 宇随  |
| 長村 久枝  | 99 | 下谷  |
| 山川 武雄  | 69 | 玄女  |
| 杉本 正一  | 72 | 小人町 |
| 岩田 一義  | 78 | 末政  |
| 松本 静   | 89 | 猪爪  |
| 嶋田 静男  | 88 | 石上  |

|        |    |     |
|--------|----|-----|
| 坂井町／   |    |     |
| 小嶋 正明  | 85 | 関中  |
| 伊藤 長義  | 87 | 小路  |
| 一柳 源助  | 81 | 上兵庫 |
| 佐藤 政幸  | 68 | 新庄  |
| 豊嶋 日出夫 | 75 | 朝日  |
| 水上 一夫  | 70 | 駅前  |
| 伊藤 美祢子 | 89 | 東   |

名前は全て人名漢字及び常用漢字で表記しています。

【今月の表紙】“渋いも甘いも”人の手次第



軒下につるされた鮮やかなオレンジ色の渋柿は、日ごとに渋味が抜け、柔らかさを増しながら赤褐色に変わる。実は、渋柿の糖度は生食用の甘柿よりもはるかに上。素材の甘さを生かすも殺すも、人の手にかかっている。  
(「つるし柿」縄かけ)  
坂井町折戸にて

市の  
すがた

10月1日現在 ※( )内は前月比、前年比

|     |                    |   |                    |
|-----|--------------------|---|--------------------|
| 人口  | 94,682人(+12、-313人) | 男 | 45,910人(+ 6、-194人) |
| 世帯数 | 29,582戸(+17、+172戸) | 女 | 48,772人(+ 6、-119人) |

1月8日まで  
前写し  
ご予約中です

毎年ご好評をいただいている  
写真集「ENJOY-PHOTO」(35,000円～)  
など、前写しならではのプランを  
ご用意してお待ちしております。

〒910-0246 丸岡町西瓜屋2-18-5 TEL. 0776-66-8505  
PHOTO STUDIO KOYO 写真の光陰 検索

詳しくは当店ブログをご覧ください。

お仏壇のお洗濯  
70代(3尺間用) 7万円～  
200代(6尺間用) 15万円～

施行前 ⇄ 施行後 仏壇専用12V配線を含みます

(株)サワザキ佛壇店 ☎66-6560  
坂井市丸岡町高柳2-16(国道8号・Y & Yゴルフ隣)

こちらは有料広告欄です

春江プラスコンコード  
第10回定期演奏会

春江中学校吹奏楽部と合同で行う、大人も子どもも楽しめる無料コンサートです。

と き 12月19日(日)  
開場13:30 開演14:00

ところ ハートピア春江  
演奏曲 ・「こうもり」序曲  
・マーキュリー  
・NHK大河ドラマ「竜馬伝」  
・となりのトトロ  
・ハナミズキ など

問春江プラスコンコード  
漆崎 ☎h\_bracon@yahoo.co.jp

第5回チャリティ  
世界文化紹介講座

今回は、歴史上日本と関わりが深いポルトガル共和国の文化紹介と懇親会です。世界の異文化を通して相互理解を図り、地域の国際化と多文化共生の輪を広げましょう。

参加費は義援金として、世界の自然災害や武力紛争に苦しむ人たちのために寄付します。

と き 12月12日(日)  
文化紹介14:00～15:00  
懇親会 15:00～16:00

ところ 東十郷公民館  
参加費 一口500円  
講 師 福井大学留学生  
ミゲル・フィダルゴ氏

問インターナショナルさかい  
中村 ☎☎51-0434/090-9443-1570  
☎tednaka@mx2.fctv.ne.jp

市民の活動を応援するコーナーです。

ビームライフル大会  
交流の部 参加者募集

県民スポーツ祭のビームライフル大会に参加しませんか。当日、会場で申し込みを受け付けます。

初めての人も大歓迎です。この機会に、ビームライフルの楽しさをぜひ体験してみてください。

と き 12月5日(日)  
受付9:00  
競技開始9:30

ところ 県立ライフル射撃場  
(福井市杉谷町49-40-2)

対 象 小学4年生以上  
種 目 ビームライフル肘射  
・小学生の部  
・中学生の部  
・一般の部

参加費 200円(保険料含む)  
表 彰 1～3位に賞状  
問県民スポーツ祭交流の部  
担当 相模 ☎36-5136

言葉を通してボランティア  
「ブルーアース」会員募集

「ブルーアース」は、いろいろな場面で外国人との交流の輪を広げる、ボランティア通訳者の連絡会です。言語種別は問いません。あなたの能力を、さまざまな場面で生かしてみませんか。

詳しくは下記までご連絡ください。  
問長田 ☎☎51-4742

みんなの掲示板  
The bulletin board of all

坂井市こども囲碁教室  
参加者を募集

文化庁の委託事業「伝統文化こども教室」として、児童対象の囲碁教室を開催しています。

保護者の同時参加も歓迎しますので、一緒に囲碁を楽しんでみませんか。

※囲碁は頭のスポーツとも呼ばれ、今年のアジア競技大会の競技種目にもなりました。

と き 2月26日までの毎月  
第1・第3土曜日  
9:00～11:00

(14:00～16:00は大人の初級教室を開講)

ところ 東十郷公民館  
対 象 幼～小学6年生  
受講料 無料

申込方法 下記まで電話  
問坂井地区囲碁連盟  
斉藤 ☎090-2033-3484

小学生対象  
土曜日将棋教室を開催

将棋を覚えたい子、将棋が強くなりたい子の参加をお待ちしています。

見学は自由ですので、まずは一度見に来てください。

と き 毎週土曜日  
13:00～17:00

ところ 兵庫公民館  
年会費 1,500円  
問坂井将棋クラブ  
坂本 ☎090-9767-2633

おせち二重  
御予約 12月25日迄  
配達・受渡し 12月31日夕方  
限定30組

忘年会・新年会  
御予約受付中!!

御料理 半 兵 衛  
丸岡町南横地 電話(0776)66-2239

小さな直しから本格リフォーム工事まで  
フリーダイヤル 0120-704-864  
住まいのプロフェッショナル  
ニッテ住宅  
坂井市春江町中筋高田 49  
ニッテ住宅 検索

こちらは有料広告欄です





「ふれんず」は坂井チャンネルでもご覧いただけます！  
 今回の内容は、11/15(月)～12/14(火)まで放送します。  
 お楽しみに！ ☎秘書広報課 ☎50-3012



6年生のゲーム形式練習では監督(左)が参加することも。容赦ない攻防を展開

ボールが繋ぐみんなの心  
 厚い信頼は最強の武器

## 練

習中、とにかく走ることをやめない。その姿からは、命

そのものがほとばしる感じすらする。熱く、泥臭くボールを追いかける子どもたち、それが「坂井サッカースポーツ少年団」だ。

昭和52年の創部当時から、坂井町唯一のサッカースポーツ少年団として活動。近年の県大会では常に上位に名を連ね、フットサルで全国大会出場経験もある。

冬季は、室内の狭い空間での練習だ。パスやボールコントロールなど、足元の技術を高めるためのトレーニングを中心に行う。

キャプテンの豊嶋健市郎さん(東十郷小6年)は、チームの特長を「チームワークがいいからパス回しもいい」と明言。自身のボランティアぶりも「誰にパスするか、どうボールをつなぐかを、とつさに判断するのが得意」と分析する。センターバックの坪川優斗さん(同6年)は「お互いの信頼があるから自信を持って

動きを指示できる」と、澄んだ瞳を輝かせる。

自分の役割を完璧に生かすために考え、努力することが、お互いの共感や信頼を生む。その絆の強さは、6年生を指導する酒井美裕樹監督も太鼓判を押す。仲間とボールは自分の一部——そんな思いを胸に、日々走り続けるグループだ。

### 坂井サッカースポーツ少年団



メンバー 70人(6年生14人)  
 代表 古川 敬一さん(坂井町五本)

コメント  
 「練習は毎週水・土曜日に、東十郷小学校で18時から行っています。小学生ならいつでも入団OK。仲間と一緒に、サッカーを思いっきり楽しもう」  
 代表連絡先 ☎090-2129-7366

## 純な旅

風に吹かれるまま揺れていた方が、いいときもある。

でも、決して吹き倒されちゃだめだよ。

まわりはどうあれ、自分自身がどうあるか——なんだから。  
 (坂井町東中野)



### 編集後記

▼今年は足軽で古城まつりに「参戦」。前回(忍者姿)よりも装備が増し、会場を回るのにも一苦労。勇ましい高校生武将隊の姿を見て、「来年はこれだ!」と思う反面、これ以上の重量増には体が悲鳴を上げるかも。(杉) ▼特集で紹介した祭り。住人の「この祭りは最高」と話すまなざしは、地域や人への愛にあふれていました。伝統から学ぶことはたくさんあります。▼市が誇る伝統行事はほかにも。みくに龍翔館で開催中の「特別展」もぜひご覧ください。(純)

平成22年11月11日

発行 坂井市

編集 秘書広報課

〒919-0592  
 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地  
 TEL 0776-66-1500(代) FAX 0776-66-4837  
 URL <http://www.city.fukui-sakai.jp/>  
 E-mail [kounou@city.fukui-sakai.jp](mailto:kounou@city.fukui-sakai.jp)